次期行財政改革大綱の方向性について

【川西市における行財政改革にかかる取組み状況】

①行財政改革大綱（H25～R5）、川西市行財政改革後期実行計画（H30～R5）

効果額は目標値に届いていないものの、市立川西病院の改革をはじめ、ごみ収集体制の見直しや組織体制の見直しなど、取組項目を着実に実行

②財政健全化の集中期間

これまでに財政健全化条例の制定、事業再検証の実行、使用料手数料の見直しを実施

引き続き、補助金・団体事務局事務・各種減免・土地の無償貸付等の見直しを実施中

【川西市の財政状況】

・新型コロナウイルス対策における国からの財政支援により一時的に収支不足が改善

　国の方針…早期に地方財政への歳出構造を平時に戻す。

・今後も増加が見込まれる社会保障費への対応

・新たな総合計画を実現するための経費の確保

・中期財政運営プラン…令和５年度以降は収支不足が続く見通し

収支見通し　（百万円）

年度	R4	R5	R6	R7	R8
収支	133	△ 322	△ 100	△ 67	△ 337

→引き続き、財務体質の改善に向けた取組みが必要

【次期行財政改革大綱の策定に向けて】

１．経済財政運営と改革の基本方針2022でのキーワード

・デジタル原則に照らした規制の一括見直しプランへの対応

（目視規制、常駐専任規制、対面講習規制、書面掲示規制など）

・デジタル技術も活用し、予算編成プロセスなどでEBPMに基づく意思決定の推進

・自治体DX推進計画に基づくデジタル化の取組を推進

・デジタル田園都市国家構想

・官の領域とされてきた社会課題解決に、民の力を大いに発揮してもらう

・社会課題の解決と経済成長の両立を目指す起業家を使っていく

・良質なテレワーク、モバイルワーク

・勤務形態の柔軟化（フレックスタイム、週休３日など）

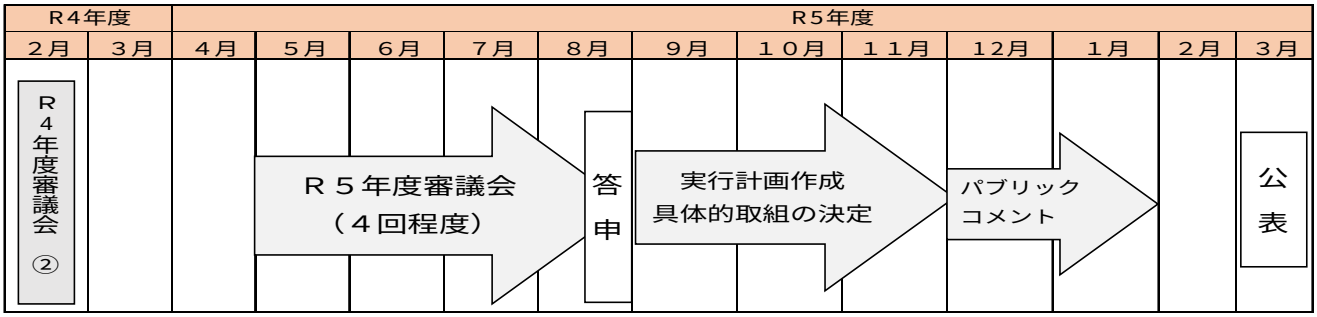
・デジタル人材を含めた中途採用の円滑化

・BPRの取組みの徹底（自治体DX推進計画より）

２．令和３年度までの行財政改革審議会からの指摘事項

・外郭団体等の役割について、市の適切な関与のあり方も含め、時代に即して再整理する

・公民館の機能転換

など

【スケジュール】